

ウサギコウモリ

Plecotus auritus (Linnaeus)

コウモリ目ヒナコウモリ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

選定理由

全国的にも分布している県が少なく、本県においても生息の確認場所が少ない。

国内分布

日本では北海道、本州（中国地方を除く）、四国から知られているが、この25年には北海道、東北地方を除くと、尾瀬、富士山、北・南アルプス山麓、白山、紀伊半島、剣山、石鎚山で知られている。

県内分布

白山地域の周辺部などで、人工的な建築物を昼間と夜間のねぐらとして利用している個体が確認されており、白山地域では広範囲に生息していたものと考えられる。

生態

大木の多い地域では昼間の隠れ家として樹洞を集団で利用するが、洞穴や家屋もよく使う。初夏に1仔を出産する。

生息地の条件

自然がよく残っている森林を生息場所としている。

生存の危機

もともと大きなコロニーが確認されたことが無く、生息場所の減少が、減少に拍車をかけている。
(A)

特記事項

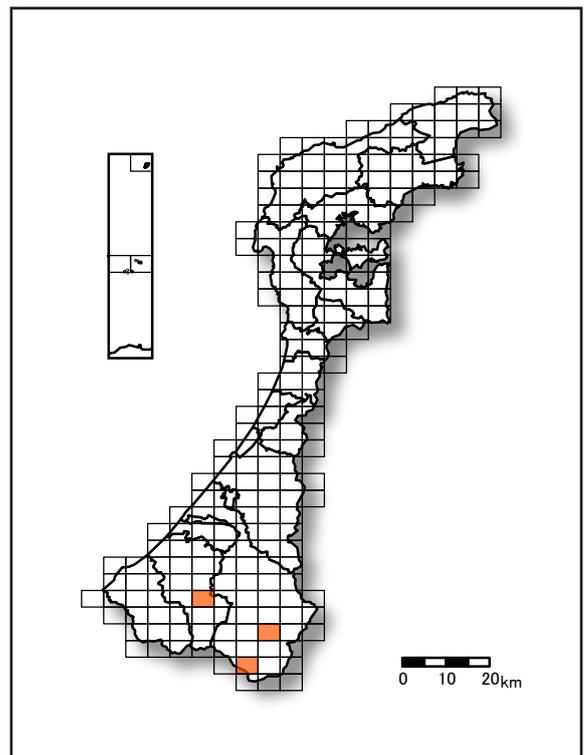
1990年以降石川県においては、生息の確認できた場所はない。

参考文献

- 佐野明・上馬康生 1981. 白山地域に生息する翼手類について, 石川県白山自然保護センター研究報告 . 7. 23-29.
山本輝正 1990. 石川県のコウモリ. 石川の生物, 石川の生物編集会 (編) . 137-142. 石川県高等学校研究会生物部会.
山本輝正 1998. 3-1-2 哺乳類 コウモリ目. 環境庁委託 平成9年度 生態系多様性地域調査 (白山) 報告書.



写真提供者: 石川県白山自然保護センター



県内の分布